



五月晴れのもと愛好活動

6日は五月晴れのとてもすがすがしい日でした。コロナウイルス感染拡大が心配される連休明けでしたが、70名全員が登校できたのが何よりもうれしいことでした。

3校時目には愛校活動がありました。5月は運動会が行われますが、自分たちの使うグラウンドの石を拾ったり、草むしりをしたりしました。みんなで力を合わせて、グラウンドコンディションはばっちりです。運動会では、自分たちで整備したグラウンドで子どもたちのがんばる姿、輝く姿が見られることでしょう。



全校集会 夢にチャレンジ

お昼には全校集会がありました。校長講話では、オリンピック出場を決めた池江璃花子選手のエピソードを話しました。白血病という難病にかかりながらも池江選手が苦しい治療や厳しい練習を続けることができたのは、オリンピックに出場するという大きな夢があったからでした。夢や希望はがんばる力となります。大きい夢だけでなく小さな希望（逆上がりができるようになりたい 漢字テストで100点取りたい）でもいい、夢と希望をもって、それにチャレンジしてほしいと願っています。（裏面もご覧ください。）

楽しかったよ 春の遠足

先月28日は子どもたちが楽しみにしていた遠足が行われました。風もなく薄曇りの絶好の気象条件の中、70名の全校児童で十六沼運動公園を目指しました。

目的地までは、春の花をながめたり、地域の人とあいさつをかわしたり、楽しい道りでした。

公園につくとまず、縦割り班ごと、学級ごとに記念写真を撮りました。その後、人工芝のピッチで六年生が企画した「お手玉リレー」や「しっぽ取りゲーム」で思いっきり体を動かしました。転んでも、滑っても痛くない芝の感覚がとても心地よかったです。

おいしくお弁当を食べた後、縦割り班ごとに「だるまさんの1日」「ケイドロ」「おにごっこ」で楽しみました。

帰りはさすがに疲れていましたが、お互いに励ましあい、全員自分の足で歩いて帰ることができました。縦割り班のきずなを深め、安全に楽しく遊んだ春の1日でした。

